

特集

新生児・小児蘇生法の不易流行 —ガイドライン改訂を支える研究論文

序—不易流行	島袋林秀	1959
〔総論〕		
JRC 蘇生ガイドライン 2020 の意義	野々木宏	1960
人類の蘇生法の歩み	浅井 隆	1966
NCPR におけるシミュレーション基盤型教育の教育設計理論	嶋岡 鋼	1972
〔各論〕		
小児一次・二次救命処置		
小児の一次救命処置	小林 匡 他	1980
小児の評価アプローチへの考え方	上村義季 他	1986
呼吸窮迫・呼吸不全の認識と管理	齊藤 修	1990
ショックの認識と管理	長井勇樹 他	1993
不整脈（徐脈性・頻脈性）の認識と管理	岩崎秀紀 他	1997
心停止の認識と管理	鉄原健一	2001
新生児蘇生法		
JRC 新生児蘇生ガイドライン 2020 の改訂ハイライト	諫山哲哉	2007
蘇生アルゴリズムの概念	杉浦崇浩	2012
蘇生準備（蘇生の予測・準備，感染対策，ブリーフィング）と初期処置	加藤丈典	2016
呼吸・心拍の評価法—聴診・心電図・SpO ₂ モニタなどの評価方法	水本 洋	2020
酸素投与と人工呼吸—遅延なき有効な人工呼吸，酸素濃度，適正な 人工呼吸である評価と対策	北野裕之	2022
胸骨圧迫と人工呼吸のコンビネーション—胸骨圧迫の効果判定も含めて	和田雅樹	2026
臍帯遅延結紮と臍帯ミルクング	細野茂春	2031
薬物療法と輸液路—早期アドレナリン投与の重要性，血管路確保	草川 功	2035
低体温療法—日本の現状と効果，海外の状況も含めて	柴崎 淳	2038
蘇生の中断—CoSTR/JRC 蘇生ガイドラインでの考え方の変遷も含めて	徳久琢也	2041

〔トピックス〕

改訂に影響を与えた日本からの発信論文と概説—小児	池山貴也 他	2045
クリニックで重症患者にいかん PALS を実践するのか	梅原 実	2049
小児二次救命処置 (PALS) の強みと限界—病態論と疾患論	小松充孝	2053
改訂に影響を与えた日本からの発信論文と概説—新生児	細野茂春	2055
新生児蘇生法の海外への普及活動	嶋岡 鋼	2059

・ 研修医のためのクリニカルクイズ [第225回]

症例：6歳 女児，主訴：顎が腫れて痛い

依田恭尚 他 1957

・ 症例

ロタウイルス胃腸炎に筋炎を合併した2例

星野柚紀 他 2063

急性副鼻腔炎から波及したと考えられる硬膜下膿瘍の1例

岩田直也 他 2067

■ 投稿規定	2074
■ 次号予告	2075
■ あとがき	2076
■ 総目次	2077

* 表紙の写真と掲載記事とは関係ありません。

『研修医のためのクリニカルクイズ』投稿原稿募集

好評連載コーナーへの投稿原稿を広く募集いたします。ご希望の方は、まず下記までお問い合わせ下さい。必要書類をお送りいたします。

東京医学社『小児内科編集部』

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5 E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp